

(学校名) 青島日本人学校

学校・周辺環境



【学校について】

児童生徒数: 小学部62名、中学部14名 計76名

職員数: 教員13名 英語講師1名 中国語講師2名 事務3名

(学校管理会社: 6名 警備会社: 6名)

年度は、4月中旬に入学式、始業式があり、3月第1週が卒業式、その1週間後が修了式です。3学期制をとっています。本年度は学校創立15年目にあたります。校舎が建設されたのは2008年で、地熱を利用した空調設備など、環境にやさしい校舎です。管理会社が施設管理をしており、大変綺麗です。

【青島について】

青島は、山東半島の南側に位置し、青い海、木々の緑、赤煉瓦の屋根が美しい、異国情緒溢れる港町です。今年は、国際会議も開催されるなど、日々発展しています。日本(成田)から約3時間、中部、関西、福岡からも直行便が出ています。日本国総領事館、JETROもあり、暮らしやすい町です。



【授業の様子】

素直で明るい児童生徒は、学習にもスポーツにも一生懸命取り組みます。少人数の特徴を生かした教育課程を組み、ほとんどの教科は学年単位で行っていますが、小学部体育、家庭科、中学部体育、音楽、美術、総合的な学習は複数の学年で実施しています。

特徴的な取組として、小学部英語は、英会話講師が関わる授業の他に、小学部が朝活動「ファンタイム」として週3回実施しています。中国語は、週1回、コース別に分かれ、自分の力に合った学習をしています。また、委員会活動は、小学部5、6年と中学部が同じ委員会に所属し、役割や内容を工夫しながら、活発に取り組んでいます。中学部部活動は、週2~3回生徒の希望をとり、全員同じスポーツに取り組んでいます。

※写真は、中学部1年社会科 研究授業の様子です。主体的、対話的な深い学びをテーマにした授業づくりを研究しています



【主な行事】(入学式、始業式、終業式、卒業式、修了式は除く)

1学期: 新入生を迎える会、全校遠足、持久走記録会、小学部現地校交流会、農業体験、小学部5年体験学習、6年修学旅行(泰山) 中学部修学旅行(西安)・日本人会企業体験

2学期: 水泳記録会、運動会、小学部6年日本姉妹都市児童交流会、中学部現地校交流会、学習発表会、中学部キャリア講演会

3学期: 書初め会、百人一首大会、節分集会、卒業生を送る会

※全校で5つの縦割り班に分かれ、水曜日には「ともだちランチ」として一緒にお弁当を食べます。大掃除を縦割りでするなど、日常的なかかわりを大切にしています。

※写真は、昨年度の「学習発表会」から中学部和太鼓「信州上田原合戦太鼓」のステージです。



【現地理解教育・国際交流】

小学部・中学部ともに、長年継続して交流を実施している学校があります。また、青島市政府、青島在日本領事館と連携して、他の学校(高校も含む)を職員が視察したり、児童生徒の交流につなげたりしています。また、教育活動に生かす目的で、職員が日本企業に研修に行くことも実施しています。

(昨年の例)

・小学部: 1年~6年現地校を児童を招いての交流
3年4年 現地校の要請で授業の中での交流
5年 日本と中国の合併会社で体験学習

・中学部: 現地校の英語の授業に参加 現地高校生を招いての交流
現地日本企業での職場体験

※写真は、今年度、現地校を訪問しての交流の様子、小学部1、2年が音楽の授業に参加している

生活環境



【住居】

写真の2つの住居は、学校のすぐ近くの学校採用職員が暮らしているマンションと、学校から少し離れた場所にあるマンションです。学校指定の住居ではなく、着任される方の希望、給与、学校の補助などを総合的に考えながら、現在勤務している教員とメール等で連絡を取り、赴任前に住むところを決め、着任してすぐ生活できるようにしていきます。

教員一人一人、住むところが異なりますが、生活しやすい家具付きのマンションを選びます。住むうえで、故障による修理などの交渉が必要な場合は、学校の事務担当が通訳したり交渉したりして対応し、生活に困らないようにしています。

	<p>【周辺のお店・病院等】 生活の足としての地下鉄2号線、3号線、11号線、豊富なバス交通網があることにより、どこにでも簡単に移動することができます。日本人が発行しているフリーペーパーが2紙あり、新しいお店や遊びの情報なども、すぐに入ってきます。日系のスーパーのすぐ近くに、日本国総領事館や日本人会事務所があることから、安心して生活したり外出したりすることができます。日本食レストラン等も数多く出店しており、日本人にとって暮らしやすい街です。買い物の不便はありません。病院は、外国人専用受付のある病院、24時間日本語で対応する病院（各種海外保険が利用できる）など、心配いりません。</p>
	<p>【物価・休日・現地独自の文化等について】 今年6月に国際会議が実施されるなど、中国では発展した都市として、また避暑地として広く知られる青島ですが、他の中国の都市より2割ほど物価が安く、生活費は、かなり低く抑えることができます。ドイツ統治時代の建物や街並みが残り、美しい海、山など自然も豊かな上、治安も安定しています。（ドイツ統治時代後、日本も多くの企業が進出していました。現在でもその建物の名残が残っています。）教職員は、週末、日本人会のメンバーによる、スポーツ同好会等（ヨット、ゴルフ、卓球、ソフトボール、テニスなど）に参加したり、中国語会話のレッスンを受けたりして、それぞれが自分の興味に応じた充実した時間を送っています。</p>
<h3>応募者へのメッセージ</h3>	
<p>校長より</p>	
<p>中国にマイナスのイメージをもっている先生、そうでない先生も、一度、青島日本人学校のホームページを開いてみてください。青島日本人学校では、素直で明るく元気な子どもたちと、愛情あふれる教職員が、家庭的なつながりの中で、楽しく、そして切磋琢磨しながら学校生活を送っています。赴任前、青島については、「青島ビール」しか知らない私でしたが、すぐに青島がそして青島日本人学校が大好きになりました。青島は、中国の都市、「幸福度」NO1というアンケート結果もあります。青島の海、山、自然の豊かさ、人々のあたたかさに触れてください。きっと、これまでの考えに変化が起こります。そして、そのような先生のをぜひ、この青島日本人学校で生かしてください。子どもたちのためなら、労を惜しまず頑張る先生、新しいことにチャレンジすることが好きな先生、青島日本人学校の子どものために、教育活動を充実させ、子どもたちの明日に向かって一緒に頑張らしましょう。青島での経験は、先生自身の人生を豊かにします。</p>	
<p>学校採用教員より</p>	
<p>もともと学生時代に興味があり、受験しようと思ったのですが、両親の反対もあり断念していました。しかし、前職で環境教育のために様々な学校を回る中で、もっと海外の日本人学校で子どもたちと関わりたいと思い、応募しました。赴任前は不安もありましたが、先輩の先生方が生活面でも仕事面でもサポートしてくださったため、すぐに生活にも仕事にも慣れることができました。少人数のため任される仕事も多いですが、その分色々な経験ができやうがあります。青島日本人学校は、小中の垣根も低く、休み時間には学年を超えて仲良く遊んでいます。素直で明るい子どもたちと一緒に、ここ青島でしかできない教育、経験、そして生活を楽しみましょう。</p>	